

Department of Geography

国士舘大学 文学部

地理学教室 案内

Kokushikan University

and Environmental Studies

地理学に主軸をおきながら、 環境問題の最新課題に取り組みます。

地理・環境コースの特徴

—— コースの目的 ——

環境を構成する空間的広がりの中に見られる諸事象・諸現象の特性について把握して、その成立要因や構造を検証する能力を養い、地理的・地理学的な見方・考え方を通して社会の理解と発展に資する人材を育成することが、私たちのコースが目指す目標です。

—— コースの特色 ——

他大学の地理学科に比べて大きな特色と考えているのは次の点です。

1. 地理学の最新分野の講義が揃っており、自然地理・人文地理の分野を網羅する専任教員、非常勤講師がいます。
2. 最新の機材が充実し、これらを使った先進的な実習を行っています。
3. 1年生から専門科目があり、地理・環境に関する基礎的内容を学べます。それらの科目ではできるだけクラス分けをし、少人数で学べるようにしています。
4. 1年次から3年次まで3回の必修の野外実習があり、現地調査の体験・体得が十分にできます。また卒業するまでに、1回は海外研修の場を提供してきました。
5. 少人数教育で、きめ細かい指導が受けられます。ゼミの学生数は基本的に10人未満。この人数で3、4年生の2年間バッチリ指導します。和気あいあいとしたなかで、きめ細かい教育を目指します。
6. 新しい分野(例えばGISやリモートセンシング等)への就職実績を毎年重ねています。
7. 全教員が「専門地域調査士」の資格を有する唯一の地理学教室であり、フィールドワーク、地域調査の専門家の養成に力を入れています。

地理・環境コースの目的・特色を読んで共鳴してくれる受験生には、AO入試もお勧めします。
『AO入試において求める学生像』(=受験資格といってもよい)は以下のようなものです。

1. 地理や環境問題に関心があり、地理の成績が優秀である者
2. 地理、環境関係や語学関係の諸資格を持っている者
3. 生徒会活動・ボランティア活動・スポーツ等で一定の活躍をした者
4. 地域(郷土)や自然環境、環境問題、自らの見聞を広めるための旅行や野外活動に強い興味をもち、自らもしくは自身を含むグループで企画した継続的な学習や旅行・野外活動などの経験を延べ7日以上有し、その成果を何らかのかたちで示すことのできる者

CONTENTS

地理・環境コースの特徴……………	1	卒業論文……………	12
地理・環境コースで学び・考えること…	2	研究室ってどんなところ？……………	13
Campus Calendar……………	3	卒業後の進路……………	17
カリキュラム……………	9	先輩からのメッセージ……………	18

地理・環境コースで 学び・考えること

KATO Koji

加藤 幸治 文学部史学地理学科 教授 地理・環境コース 主任

地理・環境コースでは、コースの教育目標を、「地理学的なものの見方・考え方を習得すること」に置いています。簡単そうでいて、分かりにくいかもしれませんが、「地理学」の学問的性格から考えてみましょう。

地理学は基本的に、人間の関わる現実空間に展開する現実の事象を対象とする学問です。現在のところ、(また、これまでも、そして、これからもしばらくは)人間が直接関わる現実空間はおおよそ地表に限られますので、地表に展開する現実の事象を対象とする学問とも言い換えられます。現実の事象というのは地形や植生、生態系や人間活動のことであり、その地表での展開、つまりはそれらの広がり注目して、その規則性や偏りなどのパターンを調べ、それを作り出すメカニズムや法則を解明するということになります。

余計難しく感じるかもしれませんが、どうしてある場所では砂漠が広がるのか?「お雑煮」といっても地域や場所によって違ったものになっているのはなぜか?というようなことを追求する学問と考えてもらえれば、それでおよそ間違いありません。

ただ、それって地理だと思うけど、「環境」はどうしたの?と思う人もいるでしょう。その答えは「人間が直接関わる」ということと大いに関係します。

「環境」は、辞書的には「取り囲んでいる周りの世界」のことですが、「何を」取り囲んでいるのかといえは普通は人間や生物ということになります。しかも多くの場合は、自分や、自分も含まれる人間になります。ですから、地理学が対象とする「人間の関わる現実空間に展開する現実の事象」というのは人間活動とともに人間を「取り囲んでいる周りの世界」ですから、地理学は人間活動と環境を対象とする学問ともいえます。

なので、地理・環境という言い方は、ある面「頭痛が痛い」という言い方と同じ(同義反復)かもしれません。ただ、中学や高校の地理では扱いが小さくなりがちな環境・自然環境について、学び・考える機会や、それ(自然地理学)を専門とする先生が多いことなどを意識して、地理・環境コースを名乗っています。

もちろん人間活動の方(人文地理学)を専門とする先生もいます。どんな先生がいて、どんなことが学べるか、本冊子を開いて確かめて下さい。

Campus Calendar

Spring

Summer

Autumn

Winter

4 April

オリエンテーション

梅ヶ丘校舎にマ
新入生オリエンテーション実施



たくさんの仲間が集まりました



出発前、班ごとに作戦会議

1年生 地理学野外実習 A

多摩丘陵をフィールドに二日間の野外実習実施

5 May



調査開始！



丘陵地の
土地利用調査



班の代表による発表



二日目は
雑木林の中でも調査



班ごとに結果報告



先生の講義

Spring

Summer

Autumn

Winter



活断層のトレンチ調査

夏、先生方はフィールドへ。
ヨルダンには何度も調査に行っています。
院生になると海外の現場へ一緒に出かけることもあります。

ヨルダン

崖をよじ登り
地層を確認中



自転車です島を巡り区画ごとに土地利用の状況調査

沖縄

希望すれば学生も先生の
調査に同行できます。



先生が観察ポイントを見つけ、そこに測深ポールを
立てて水深と次のポイントまでの距離を測定
同時に海の中に潜って海底のサンゴの様子を観察



沖縄・多良間島へ、多良間の豊かな海に広がる
サンゴ礁と、島の土地利用の現況を調査

9 September

海外研修

中国巡検
「中国遼寧省・河北省の
都市と文化遺産」

金山嶺長城を巡検・見学



大連港にマ

在学中に一回は国際交流の機会がある
ようにしました。
これまで、この中国の他にフィリピン、
台湾、パリに出かけました。

北陵公園、故宮

大連外国語学院
学院生の皆さんと交流

10 October

群馬県みなかみ町の土合地区で地形と植生観察、
気温観測を行いました。(佐々木ゼミ)

2年生 地理学野外実習B

JR上越線土合駅下り線ホームから
400段以上の階段を登って地上へ。



一ノ倉沢出合での堆積物の
調査の様子



天神平での気温観測の様子

ロープウェイを利用し、気温の
垂直分布を明らかにしました。



迫力ある一ノ倉沢出合

3年生 地理学野外実習C



福岡市を拠点に、学生各自でテーマを設
定し現地調査を行いました。(内田ゼミ)



柳川のうなぎ
の取り扱い店
の分布特性



門司港レトロ地区の観光化が
住民に与えた影響とは？



里山森林班の調査風景、美し
いコナラ林にマ

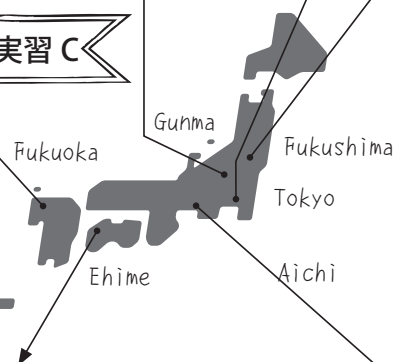


河辺草原や水生動物を調べ
る川班のメンバー



水生動物を調べています。

夕食後はミーティングに続き、夜遅く
まで標本整理等が続きます。



愛媛県大洲市にマ河辺や里山
の生態地理の野外実習を行っ
ました。(磯谷ゼミ)

Autumn

Winter

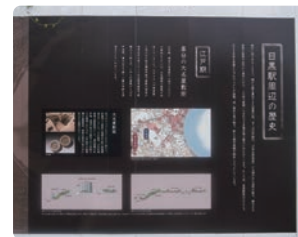


品川区における「工場跡地」の利用をテーマに調査・実習を行いました。(加藤ゼミ)

工場のあった所の多くがマンションに。ただ場所によって違います。周辺環境や交通条件を現地に行って調査する必要があります。



京浜工業地帯を通る京急線



目黒駅は品川区内で対象地、品川駅は港区にあるので範囲外です。



福島県南会津町、下郷町にマ、崩壊地形をUAV（ドローン）を使って空撮し、詳細地形図を作成。加藤谷川流域の河成段丘を調査。リゾート開発による景観の変化を調査と、各班それぞれの目的に向かって全力投球でした。(長谷川ゼミ)

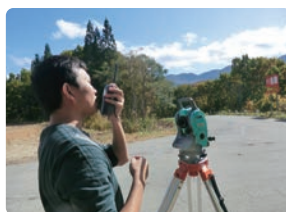


入念なドローンの撮影準備中



集中豪雨で崩壊したスキー場をドローンで撮影し、地図や3D画像を作成。土量などを推定しました。

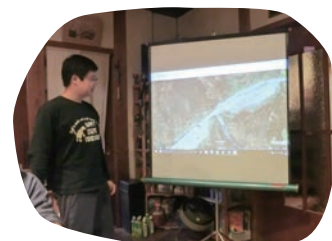
トータルステーションを使つたの測量



段丘地形班は、地層が露出した露頭を探して段丘調査をします。地道な調査の積み重ねで、この地域の地形発達をまとめてゆきます。



夜の宿舎で、各班の調査成果を発表



岡崎城。
城下町の土地利用も歴史地理のテーマです。

愛知県名古屋市とその周辺においマ、各自が設定したテーマについてそれぞれが資料収集や現地調査を行いました。(岡島ゼミ)



東海道有松町の歴史的町並み
(名古屋市)



リニモをテーマにした交通地理的調査も



歴史的街並みやその保全、そこに住む人々の意識などを調査します。



12 December

国士舘大学地理学会 研究発表会



研究発表会は、3年生の野外実習の結果に関する、ゼミ代表による発表です。



1 January

世田谷の歴史地理巡検

世田谷の歴史地理巡検は、「世田谷の地誌」の授業の一環として開かれまきました。2020年度からは地理学野外実習Ⅱ（選択必修）のひとつとして開催されます。

豪徳寺の招き猫。歴史ある寺というだけでなく、最近はいんばウンドツーリズムの対象としても注目されています。



かつまの農村風景を再現した次大夫堀公園民家園



古墳もあります。
(野毛大塚古墳)



世田谷にお城があった！
(世田谷城跡の土塁)

Autumn



Winter



口頭発表とそれに続く質疑応答に全力で取り組んでいます！

2 February

卒業論文公開口頭試験

卒業論文を教員が閲読し、さらに公開口頭試験によって卒論の評点が決まります。

3 March

学位授与式



教室主任から学位記が手渡されます

全学で開かれる卒業式もありますが、ともに地理・環境を学んだ卒業生だけで開かれる「教室の卒業式」です。

国土館大学地理学会 巡検

国土館大学地理学会巡検は、授業休業期間を中心に開催され、希望者が参加できます。学生同志、学生と教員が親睦を深めながら、調査・研究・見学・観察をします。

北海道十勝平野巡検



鹿児島巡検



箱根巡検



Curriculum カリキュラム

地理・環境コースのカリキュラムは、地理学の基礎を学ぶ科目と、Campus Calendarで紹介している様々な野外実習科目、演習科目、卒業論文が必須科目で、その他の科目は全て、半期制の選択科目です。

実習・演習などで手法を体得し調べ考える

調査研究科目群



実習あるいはゼミ（演習）形式で地理学的見方・考え方を実践的に養います。野外実習は学生同士、学生と教員の交流の場でもあり、充実した学生生活の一コマとして多くの学生に記憶されるでしょう。

地理学野外実習 A *
地理学野外実習 B *
地理学野外実習 C *
地理学野外実習 D
地理学入門ゼミ *
地理学演習 1 *
地理学演習 2 *
地理学演習 3 *
地理学演習 4 *



人間環境科目群

人文地理学に関する専門科目です。歴史、交通、経済、社会などの地理に関して、講義を通じて学びます。

地理学総論 *	旅の地理学
人文地理学入門 *	環境イメージ論
江戸東京の歴史地理	民俗と文化の地理学
交通の発達と環境	環境と文化
経済と人間生活	持続可能な地域づくり
世界の社会と経済	地球環境保全論
食と農の地理学	歴史景観と環境
農村空間と社会	地域計画と住民参加
都市空間と社会	地域の環境と防災
社会環境と人間	
レクリエーションと環境	



人文地理学的アプローチ

講義などで知識を深め基礎を固め考える

卒業論文*

体得してきた知識や手法を生かしてまとめるのが卒業論文です。まさに地理学的方法の集大成。現代の地球・世界・地る諸問題の解決にむすびつく論文の作します。

地域

人文・自然の2つの系統地理学の応各地域の地誌を学び、地理的現実を総る視角を学びます。

日本の地誌
日本の景観と社会
アジアの環境と人間生活
ヨーロッパの環境と人間生活
北アメリカの環境と人間生活
オセアニアの環境と人間生活
熱帯・乾燥地域の環境と人間生活



史学系科目群

グローバルヒストリー A・B
国際交流の歴史
産業と流通の歴史 など

そのため学生一人一人が自由に履修計画を立てることができます。

以下に示す様々な講義により各分野の地理学的素養が蓄積でき、
地域・地球が抱える様々な問題に迫ります。

※科目名の「*」は必修科目を示します。

とめあげ
見方・考
域が抱え
成を目指



情報調査科目群

実習形式の授業を中心に、地図や測量、GIS、リモートセンシングの手法を基礎からはじめて、応用に至るまでを学んでいきます。実践的能力が身につきます。



地域調査法 *	環境リモートセンシング応用
自然環境調査法 *	地理情報システム入門
地図学	地理情報システム
地形図判読法	地理情報システム応用
地図製作法	測量学 1
空中写真判読	測量学 2
環境データ分析法	測量実習 1
社会調査とデータ分析法	測量実習 2
計量地理学	測量実習 3
環境リモートセンシング	

環境科目群

用として、
合的に捉え



教職系科目群

地誌
人間生活の地理学
現代地理学と自然環境

自然環境科目群

自然地理学に関する専門科目です。
地形、気候、植生、防災に関する地理
を主に講義を通じて学びます。



自然地理学入門 *
東京の自然環境
地表環境の生い立ち
防災の地理
日本の水環境
沖縄の自然環境
グローバルな気候環境
地域の気候と災害
第四紀の自然史
日本の植生環境
地域の生態環境
地生態の地理
自然保護と環境アセスメント

自然地理学的アプローチ

Curriculum Map

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
人間環境科目群	地理学総論 人文地理学入門 自然保護と環境アセスメント	江戸東京の歴史地理 食と農の地理学 世界の社会と経済／経済と人間生活／農村空間と社会／都市空間と社会／社会環境と人間／交通の発達と環境／レクリエーションと環境／旅の地理学／環境イメージ論／民俗と文化の人類学／環境と文化／持続可能な地域づくり／地球環境保全論	歴史景観と環境／地域計画と住民参加／地域の環境と防災	
自然環境科目群	自然地理学入門	防災の地理 地表環境の生い立ち 東京の自然環境 沖縄の自然環境／日本の水環境	グローバルな気候環境／地域の気候と災害／第四紀の自然史／地生態の地理／日本の植生環境／地域の生態環境	
調査研究科目群	地理学入門ゼミ 地理学野外実習 A	自然環境調査法 地域調査法 地理学野外実習 D 地理学野外実習 B	地理学演習 1 地理学演習 2 地理学野外実習 C	地理学演習 3 地理学演習 4 卒業論文
情報調査科目群	地図学 地図製作法／地図判読法	測量学 1 測量実習 1 地理情報システム入門 環境データ分析法／空中写真判読／環境リモートセンシング／環境リモートセンシング応用	測量学 2 測量実習 2 測量実習 3	
地域環境科目群	日本の地誌／日本の景観と社会	アジアの環境と人間生活／ヨーロッパの環境と人間生活／北アメリカの環境と人間生活／オセアニアの環境と人間生活／熱帯と乾燥地域の環境と人間生活		
教職系科目群		現代地理学と 人間生活の地理学 自然環境 地誌		
史学系科目群	日本歴史 A 日本歴史 B 日本史学の基礎 (前近代) (近現代) 外国史 A 外国史 B 考古学の基礎 日本文化の歴史 A／日本史の中のジェンダー A／地域と歴史 A／人間と社会 I (哲学)／人間と社会 II (倫理学)／人間と社会 III (宗教学)／日本倫理思想史／西洋哲学史入門	グローバルヒストリー A グローバルヒストリー B		日本考古学 A・B／日本古代史 A・B／日本中世史 A・B／日本近世史 A・B／日本近代史 A・B／日本現代史 A・B／日本文化の歴史 B／日本史の中のジェンダー B／地域と歴史 B／歴史遺産の保存／歴史遺産の復元／史料と史料学 A・B／アーカイブ学 1・2



研究室って どんなところ？

少人数のゼミで、教員と学生とのコミュニケーションを深めながら議論や研究が行われます。四年間の学習、研究の成果を「卒業論文」としてまとめることにより、高度な専門知識を身につけることができます。

桐越研究室

桐越 仁美 講師 KIRIKOSHI Hitomi

西アフリカのニジェールとガーナの2か国を対象に、人びとの生活や交流について研究しています。私が調査の軸にしているのは、コーラ（コーラナッツ）という嗜好品の取引です。コーラは初期のコカ・コーラの原料でもあります。西アフリカの環境がどのように人びとの生活に影響をおよぼし、地域間や民族間の交流を生み出しているのかを、コーラの商人や生産者、消費者の実践から明らかにしようとしています。調査では、農村に数か月間住み込み、村人とともに生活します。同じ食事を取り、一緒に農作業や家事などの仕事をし、彼らの言葉を学び語り合うなかで、現代西アフリカの実情を詳細に描き出すことを目指しています。また近年は、西アフリカから東アジアにきている商人たちにも着目しています。中国の商人や日本の企業といかにつながり、取引に



首都大学東京都市環境学部地理環境コース卒業、同大学院都市環境科学研究科(地理学専攻)、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、博士(地域研究)。京都大学アフリカ地域研究資料センター研究員、東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター研究員を経て、2020年より国士舘大学文学部教員、講師。主な業績に『争わないための生業実践—生態資源と人びとの関わり(分担執筆)』など。



おける信用を確立していくのか、その過程を明らかにしたいと思っています。

私の専門はアフリカ地域研究で、その地域の特性を多角的に明らかにする手法を用います。気象観測やGISを用いた分析、植生調査、土壌分析、聞き取り調査、参与観察、統計データ分析、歴史文献を用いた調査と、研究になんでも取り入れる「なんでも屋さん」です。私自身もまだまだ吸収したい／しなければならぬことがたくさんありますので、学生のみなさんとともに学んでいきたいと思っています。

趣味は自転車で各地を回ることやキャンプなのですが、いまは育児奮闘中のため、しばらくはお預けになりそうです。



長谷川研究室

長谷川 均 教授 HASEGAWA Hitoshi

私は大学生になって初めて地理にめざめました。特に地理学に興味があって地理学科へ進学したわけではなく、滑り止めを一つくらい用意すると、友達くれた大学の願書セットにあった地理学科を受験したらそこしか合格しなかったという次第でした。地理学科を選んだのは、予備校時代に選択した地理が、全国模試で何番目という具合に抜群にできたからです。地名物産地理の成績が良かったからといって、大学で初めて学ぶ地理学が面白いわけもなく先生方の講義はつまらないし、魅力のある学問には思えませんでした。

でも、あるとき、地形図を眺めていたら突然地形が三次元で浮かび上がってきました。高校時代の山登りで見た越後三山の山容、



東京の坂の上がり下り、線路のカーブ、風の動きにも意味があることに気がきました。身の回りの全てが地理学と関わってできているんじゃないかと…。こんな面白い世界があると気がついたのはラッキーでした。日々出会う新しいものが研究になり、のめり込んでしまいます。次から次へと登場する新しいものに目が奪われる毎日が楽しい。サンゴ礁を潜り中東の景観を愛で、無人飛行機を飛ばして測量用の写真を撮る。地理学は素敵だ。



法政大学大学院人文科学研究科。博士（理学；東京都立大学）。国士舘大学講師（1988年）、助教授を経て教授。主な著書に『リモートセンシングデータ解析の基礎』、『熱い自然（共編著）』など。論文に「The decline of coral reef conditions caused by extensive land modification: a case study of the Shiraho area on Ishigaki Island, Okinawa, Japan」など。

望遠鏡を組み立てて星見をしたり、部屋にこもってウキスケをちびりながら聴き惚るJAZZが趣味です。



岡島研究室

岡島 建 教授 OKAJIMA Ken

私たちが生活してきた地域・景観を歴史地理学的に見てみよう。身近な地域にはたいがい川が流れている。川沿いには道が通じている。川沿いの道を行くと、ときおり集落がある。集落の周囲には農地が広がり、林野や池沼も見られる。川の合流点には、やや大きめの集落があり、古い町並みが残っている。商家が軒を並べ、蔵をもつ家も多い。川には物を運ぶ船が通っていて、集落には荷揚げ場があった。そこは流域の要となる物資の集散地であり、地域の中心地として商業が発達していた。そこには、やがて鉄道が通じ、駅が開設された。鉄道の開通は、人や物資の往来をますます盛んにした。そうして次第に、人口や機能集積が高まり、都市となり、交通の要衝として発達していく。このような歴史的町並みや都市の形成過程、交通の発達と地域の変遷について調べてみよう。歴史的町並み・景観の現代における活用と人々のくらしを学ぼう。



名古屋大学大学院文学研究科。博士（地理学）。1992年名古屋大学文学部助手。93年国士舘大学教養部講師。96年文学部に移り、98年助教授、2006年教授となり現在に至る。共著書として『図説名古屋圏』、『近代日本の地域形成』など。

趣味は男声合唱。学生時代に4年間活動し、その後OB会の運営に携わった。近年はOB合唱団に参加し、先頃30年ぶりにステージに立った。仲間と気持ちを合わせて、声を揃えて精一杯歌えるのが快感である。





内田研究室

内田 順文 教授 UCHIDA Yorifumi

動を扱う認知行動論、景観や小説・映画・アニメをテキストとして場所を読み解く人文主義地理学など多種多様ですが、都市地理、社会地理、政治地理など、これ以外の地理学に興味を持つ人も歓迎します。



名古屋大学大学院文学研究科。文学博士。1991年より国士舘大学文学部。教授。主な論文に、「推理小説の舞台としての場所：金田一耕助が活躍する作品世界」、「アニメ映画の風景としての農村：宮崎駿・高畑勲作品に描かれた農村風景」、「中国・四国・九州地方における都市の観光イメージについて」など。



これまで訪れた都市は、国内 400 箇所、国外 500 箇所以上。国鉄完乗。集めた音楽約 6000 曲。自転車走行距離 8 万 km。クイズ番組出場（戦績は 4 戦 2 勝）。タロット占断的中率 70-80%。その他雑多なもののコレクション。

ゼミとは、卒業論文の作成に必要な知識と技術を身につけるための授業です。そこでは、本を読んだり人のノートをコピーしたりするような方法では決して知ることのできない内容について学ぶことになります。今日の大学教育の中で、唯一「学問」としての側面を残している科目だと言ってもよいでしょう。そこをふまえた上で、大学生活の後半を有意義に過ごしたいと思う学生、充実感のある卒論を書くつもりで学生は来てください。きっと満足のいく論文が書けるよう、論文を書くために必要な内容を初歩から上級レベルまで、懇切丁寧に指導いたします。本ゼミに所属した学生の研究テーマは、都市イメージや観光イメージといった場所イメージ研究、民俗文化や地名あるいは食文化を扱う文化地理、温泉観光地や歴史観光地などを扱う観光地理、購買行動や観光行

磯谷研究室

磯谷 達宏 教授 ISOGAI Tatsuhiko



私の専門分野は植生地理です。すなわち、どのような森林や草原がどこに分布していて、そのような分布が見られるのはなぜか？ということの研究する分野です。自然に生育する植生が主な研究対象ですが、人々が利用してきた雑木林や採草地、さらには管理放棄された植林地なども研究対象です。私は、野外で森や草原が見えると、近づいたり中に入ったりして、どんな生きものが棲んでいるのか確かめてみたくなる性分です。生きものが好きな人なら、野外で植生がわかるようになると、散策がより楽しいものになるはず。植生は、地域景観の構成要素としても重要で、その魅力を創る重要な要素です。そのため、都市や農村の緑地環境や地域の観光資源などに興味をもっている人にも、楽しく学んでもらえる対象といえるでしょう。



最近では趣味と実益を兼ねて、カメラや写真撮影が趣味になっています。黒人レーツミュージック系の音楽も好きなので、入学して来られる皆さんとそんな話ができるのを楽しみにしています。

3 年生からの磯谷ゼミでは、植生だけでなく、さまざまな動物の生態地理や、生物の保全や緑地計画などに関心がある人にも、希望に応じて学んでもらっています。

東京都立大学理学部地理学科卒業、同大学院理学研究科（地理学専攻）。東京農工大学大学院連合農学研究科、博士（農学）。(株)緑生研究所、(財)国際生態学センター研究員を経て、1998 年度から本学に勤務。主な著書に『マツとシイ』（岩波書店）など。



加藤研究室

加藤 幸治 教授 KATO Koji

専門は経済地理学です。経済地理学とは何かというのを真面目に説明しようとすると、定説がないので困るところがあるのですが、経済活動の地理的・空間的展開に関する研究をする分野だと言えます。企業や産業の立地や、労働力の分布など、経済活動の主体の「立地」とそれがもたらす影響や結果などについて明らかにする学問です。

私自身はサービス業を主たる対象としていますので、産業といっても病院・医療サービス、教育なども対象になります。ゼミの学生の中には、マンガ喫茶やネイルサロン、スーパー銭湯やファミリーレストランの立地展開とその要因などを、卒論のテーマにした人もいます。これらの存立には「集客」が関係するのは言うまでもありません。では病院などはどうなる？というようなことを考えることの応用から、最近はドクターヘリに関する研究などもしています。



趣味は登山ですが、最近はあまり「激しい」のには行けてません。旅行も趣味と言えますが、いろいろ見に行くのではなく、同じところに「停滞」するのが好きで、夏に北海道（中標津、西興部）に1週間前後「移住」したりしています。スイスにも1年住みました（これは仕事ですが：笑）。
写真：スイス・アイガー北壁を望む



一見、関係ないものに見えますが、立地を支える規模、その背景としての「集客」圏の範囲とその限界を決める時間・距離との関係、その結果としての人口の集中・集積など経済地理学的な見方・考え方は共通するのが面白いところです。

横浜市立大学文学部文科卒業。明治大学大学院文学研究科地理学専攻。広島大学文学部助手を経て、2001年より国士館大学文学部教員。教授。博士（地理学）。主な著書に『サービス経済化時代の地域構造』（日本経済評論社）、『スイスの謎：経済の空間的秩序』（春風社）など。



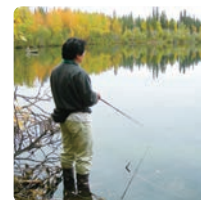
国士館大学文学部史学地理学科地理学専攻卒業、明治大学大学院文学研究科地理学専攻、東北大学大学院理学研究科地理学専攻、博士（理学）。信州大学山岳科学総合研究所研究員などを経て、2018年より国士館大学文学部教員。准教授。主な業績に『山に学ぶ（分担執筆）』『新・秋山紀行（分担執筆）』など。

佐々木研究室

佐々木 明彦 准教授 SASAKI Akihiko

山地の景観の形成メカニズムやその背後にある自然環境の変遷について研究しています。私の研究のそもそもの基礎になっているのは地形学です。地形学は地表面がどのようなかたちになっているのか、なぜそのようなかたちになっていて、それはいつどのようにつくられてきたのか、そこではいま何が起きていて、将来どうなっていくのか、ということを明らかにする学問です。学生の頃は山地の地形がいつどのようにしてつくられてきたかをテーマに研究していました。山地は平地より低温でたくさんの積雪がありますが、そのような中でも植物が生育し、土壌が生成し、自然環境は様々な顔を見せます。そこで、地形だけではなく、植生や土壌、気候、雪などが一体となってつくりだす自然景観の成り立ちを明らかにすることに興味が移りました。ひとつのことが解るとまた別の課題が出てきてしまい、複雑に関連する現象を紐解いていく楽しさがそこにはあります。山への興味は尽きることがありません。

溪流釣りが好きで山に分け入るようになったのが山を好きになるきっかけでした。その好きな山を研究の対象にできたことは幸せだったかもしれませんが、趣味で山を登ることはすっかりなくなっていました。その代わり、最近はまた趣味で釣りをするようになりました。写真はアラスカの湖でのひとコマ。



ゼミの学生は、都市の気候や山間地の積雪・融雪、植物季節と気候との関係などをテーマにして、野外観測にもとづく気候学的な研究を行ったり、山地・丘陵地での山崩れや平野の洪水など地形学にもとづいた防災関連の研究を行っています。現在、私は北海道の大雪山や北アルプス、南アルプスなどの高い山の上で研究をしていますが、学生のみなさんは、山の上にはなかなか登ってきてくれませんね（笑）。

卒業後の進路

卒業後はリモートセンシングや GIS、地理実習での体験を生かした職場へ。また測量士補や気象予報士の資格を取得して、地理・気象情報の最新分野で活躍したり、地図製作会社や環境系関連会社、旅行会社などの民間企業へ就職するケースも。教員や大学院進学などを選択する人もいます。

取得可能な資格・免許

地理・環境コースでは、次の免許・資格を取得することができます。

- 教員免許状（一種）
 高等学校：地理歴史／（公民）
 中学校：社会
 小学校：〔副免許〕 小学校二種の科目履修可能（学内受講審査あり）
- 測量士補 ● GIS 学術士 ● 地域調査士 ● 博物館学芸員 ● 学校図書館司書教諭

卒業生の主な就職先

地理・環境コースの卒業生は、地図、気象、測量、環境関連会社など、さまざまな分野で活躍しています。

地図調整業・地理情報処理・出版・その他関連企業

(株)内外地図	昭文社
(株)武揚堂	ロイター
(株)昇寿チャート	北海道地図株式会社
(株)ジェオ	(財)日本地図センター
(株)ゼンリン	(株)エアロ・フォト・センター
(株)古今書院	(株)東京地図研究社
(有)ジェイマップ	
教育開発出版株式会社	……………など

観光・交通・アウトドア

(株)東急観光 (現トップツアー(株))	(株)アウトドアサポートシステムズ
(株)H I S	(株)東海フォレスト
(株)全日本空輸	(株)オリエンタルランド
(株)J T B	(東京ディズニーランド)
(株)富士急トラベル	(株)ANA グランドサービス
J R 東日本	
J R 北海道	
東京メトロ	……………など

リモートセンシング・航空測量・測量・コンサルタンツ・調査・環境コンサルタンツ・気象関連業界

(財)リモートセンシング技術センター	(株)アジア航測	(株)中庭測量コンサルタンツ
(株)パリオ・サーベイ	(財)日本気象協会	(有)植生技術
(株)NTT データ C C S	(株)共立航空撮影	(株)トステムズ
(株)ウェザーニュース	(株)パシフィックコンサルタンツ	朝日航洋株式会社
(株)パスコ	国土交通省国土地理院	(株)近畿実測
環境省猛禽類保護センター	(株)共和コンサルタンツ	創和測量コンサルタンツ ……………など

大学院 …… 人文科学研究科 人文科学専攻 地理・地域論コースについて

専門性を生かした職業を仕事とする上では、大学院で、より専門的に学ぶこともひとつの近道。修士課程（2 年制）と博士課程（3 年制）の大学院が、地理・地域論コースとして開設されています。専任教員 7 名はいずれも演習担当で、地域・環境コースでの学びをより深めることができます。

先輩からのメッセージ

永井 麻由佳 さん【学部 2012 年卒】株式会社 東京地図研究社

大学時代は地形学のゼミに所属し、山地の地形について研究しました。何度も現地に足を運びデータを集め、調査結果を地形図に書き込んでいくうちに明らかになる事柄から、自分なりの仮説を立てて証明するための道筋を立てていく、論理的思考を身に付けることができました。

大学で学んだことを活かせればと地図調整の仕事に就きましたが、地図屋の仕事は地図を作ることだけではありません。地図に収録される情報を調査することも重要な仕事です。必要なデータの収集、求められている結果を出すための分析・見せ方のノウハウは大学時代の経験で蓄積され、業務に役立っていると感じています。

地理学を勉強すると、地形と植生の関係、地域によって異なる町並みや交通、その地に住む人の考え方や食べ物など、全て理由があるということを考えさせられます。普段の生活はもちろん、旅行先で見る景色も、これまでより刺激的で興味深いものになるはずです。



鈴木 一明 さん【学部 2013 年卒】北海道旅客鉄道 株式会社

大学時代は商業地理学の分野で商店街について研究しました。商店街の各店舗に調査票を配布し、各店舗の現状について調査しつつ統計データや住宅地図等を活用し、商店街の現状や店舗の変化について考察しました。印象的な授業として毎年野外実習があり、机上の勉強では得られないことを学ぶことができます。なかでも3年生の時に愛媛県で行った地理学野外実習Cでは地方都市の商店街の現状を自分の目で確認しながら勉強することができ、卒業論文作成へのステップにすることも出来ました。また、将来を見据えて資格取得にも力を注ぎ、現在の仕事でも活かせる総合旅行業務取扱管理者の資格を取得しました。

現在はJR北海道で駅員として働いています。幼い頃から鉄道会社で働くことが夢だったため、夢を叶えたこととお客様の暮らしや旅行の一部を支える1人としてやりがいをもって業務を行っています。お客様から「丁寧にありがとうございます。」と言っていたのが嬉しく、今は出札業務と改札業務をこなしながら、駅の裏方の仕事もしています。大学生活では様々なことに挑戦できます。その1つに地理学は自分がやりたいことに挑戦できる学問だと思います。大学4年間で色々なことに挑戦し充実した大学生活を過ごして下さい。

川村 尚子 さん【学部 2014 年卒】株式会社 JTB 首都圏

大学時代の一番の思い出は、地理学野外実習Cを通じて貴重な経験が出来たことです。スキー場に関する研究をしていたため、慣れない土地での資料収集や聞き取り調査にはとても苦労しました。しかし現地でお会った方々とお話をしたり、地域独特の雰囲気や味や、美味しい特産品をいただいたり… 実際に訪れることで得られたことがたくさんありました。

現在は旅行会社で働いています。お客様に観光地の魅力を伝えるためには、自分の目で見て体験した情報がとても重要です。そのため大学時代の巡検で得た情報は、仕事をする上での貴重な財産となっています。

地理・環境で学ぶことで、感性が豊かになり自分自身を大きく成長させることができると 생각합니다。これからの大学生活では様々な事に興味をもって挑戦してみてください。そこで得たものはきっと自分だけの宝になるはずです！



藤田 泰文 さん【学部 2006 年卒、大学院 2008 年修了】近畿実測 株式会社

建設コンサルタント企業で働いています。主な業務内容は、地形や周辺環境を調査して、管理手法を提案することです。建設コンサルタントというと、建設現場に行くというイメージがあるかもしれませんが、実際の現場は、発電プラントがあれば河川もある、森林もあるし災害現場にも行きます。学生・院生時代に先生に同行した植生調査は、今の現場と同じ環境だったので、すぐに業務に慣れることが出来ました。また、UAVやTLSを使った3次元測量を行う災害復旧の業務では、大学院で習得したGISやリモートセンシングの解析能力・測量技術が、そのまま直結しています。さらに、地理学の強みでもある多角的な視点は、様々な現場に即応できる適応能力となって、私を助けてくれます。これから技術者を目指すなら、大学院進学も視野に入れて研究に没頭するのも悪くはないでしょう。授業で感じる好奇心は、将来の職業に直結します。好奇心を感じたら迷わず進んで下さい。それが、あなたの天職です。

岩崎 慶太 さん【学部 2009 年卒、大学院 2011 年修了】地球温暖化防止全国ネット

大学では植生地理学を専門とし、太平洋沿岸部の照葉樹林帯を対象に、主要構成種の分布と環境要因との関係について研究していました。植生地理学に出会い、これだ！と思える研究テーマを見つけてからというもの、毎日の勉強が楽しくてしかたなくなったのをよく覚えています。また、日々、雑木林に分け入って、泥だらけになりながら現地調査を行ったのは良い思い出です。このような自然を相手にした研究を通じて、環境保全の重要性を強く認識した結果、「環境保全に携わる仕事がしたい」と考えるようになりました。

現在は、地域で地球温暖化防止活動を実施する団体等に対し、その活動の支援を行っている「一般社団法人地球温暖化防止全国ネット」で働いています。その中で私は、環境省が推進している、家庭から排出されるCO₂の削減を目的とした「家庭エコ診断制度」の運営に携わっています。大変なことも多くありますが、社会に貢献できる、とてもやりがいのある仕事です。

大学時代、ここまで熱中できるものに出会えたのは、とても幸運なことでした。ぜひ皆さんも何か熱中できることを見つけてください。国士館大学の地理学教室では、きっとそれが見つけれられると思います。



